第12回全国学術集会@大阪　2023年10月28日

2023年度
医師事務作業補助者実態調査報告
ー速報版ー

NPO法人　日本医師事務作業補助者協会
調査部会

2023年10月28日時点から一部追加・修正あり

©JAMOA

2023年度調査の目的と方法

医師事務作業補助業務に従事する実務者の実態把握および実務者にとって有効なスキルや経験、業務環境と医師の負担軽減効果の関係を検証することを目的とする。

Japanese Association of Medical Office Assistants

この調査で得られる成果は、実務者の実態把握に加え、今後当協会として実務者の勤務環境の改善や実務者に対する質の高い教育コンテンツの作成、国や関係機関への政策提言につなげていくことが期待できる。

調査対象と方法

対象：個人正会員1,507名、全国から無作為抽出1,200病院(加算1,000、未届200)

期間：個人正会員2023年9月21日~10月4日、病院10月1日～10月30日（予定）

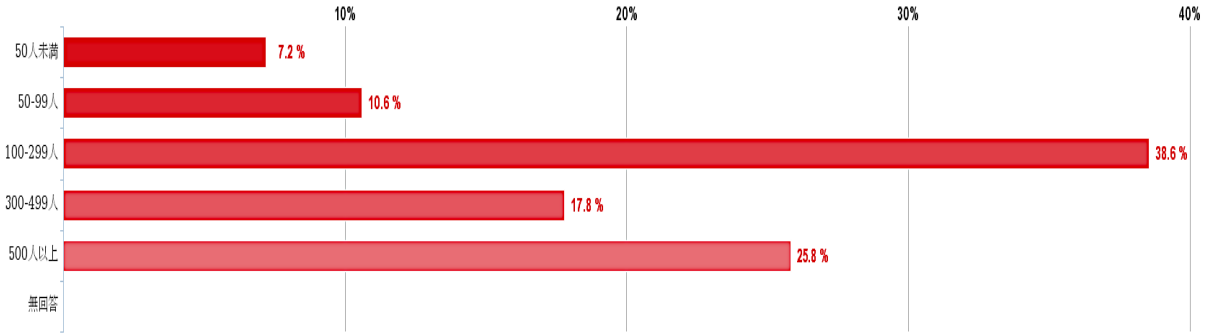
方法：WEB回答形式

回答：個人正会員　495名 【有効回答　361名（24.0%）】
病院　233施設 【有効回答　216施設（18.0%）（加算：191施設）】
※10/16時点回答
※重複回答は古い方を分析対象外とした

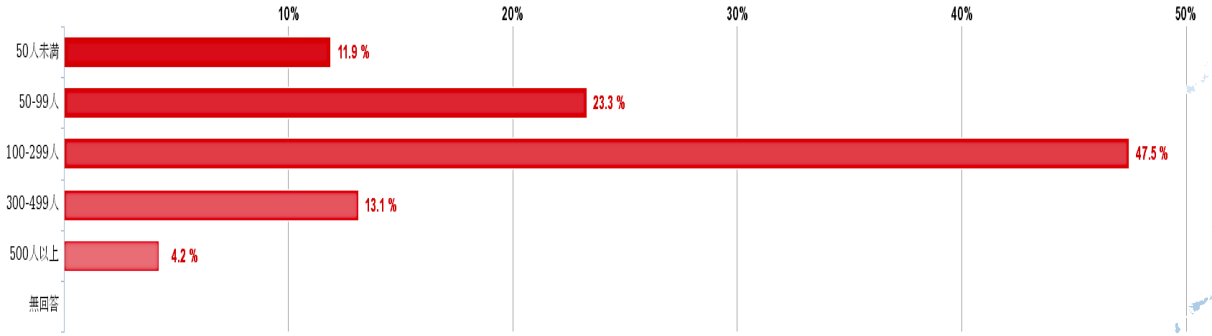
©JAMOA

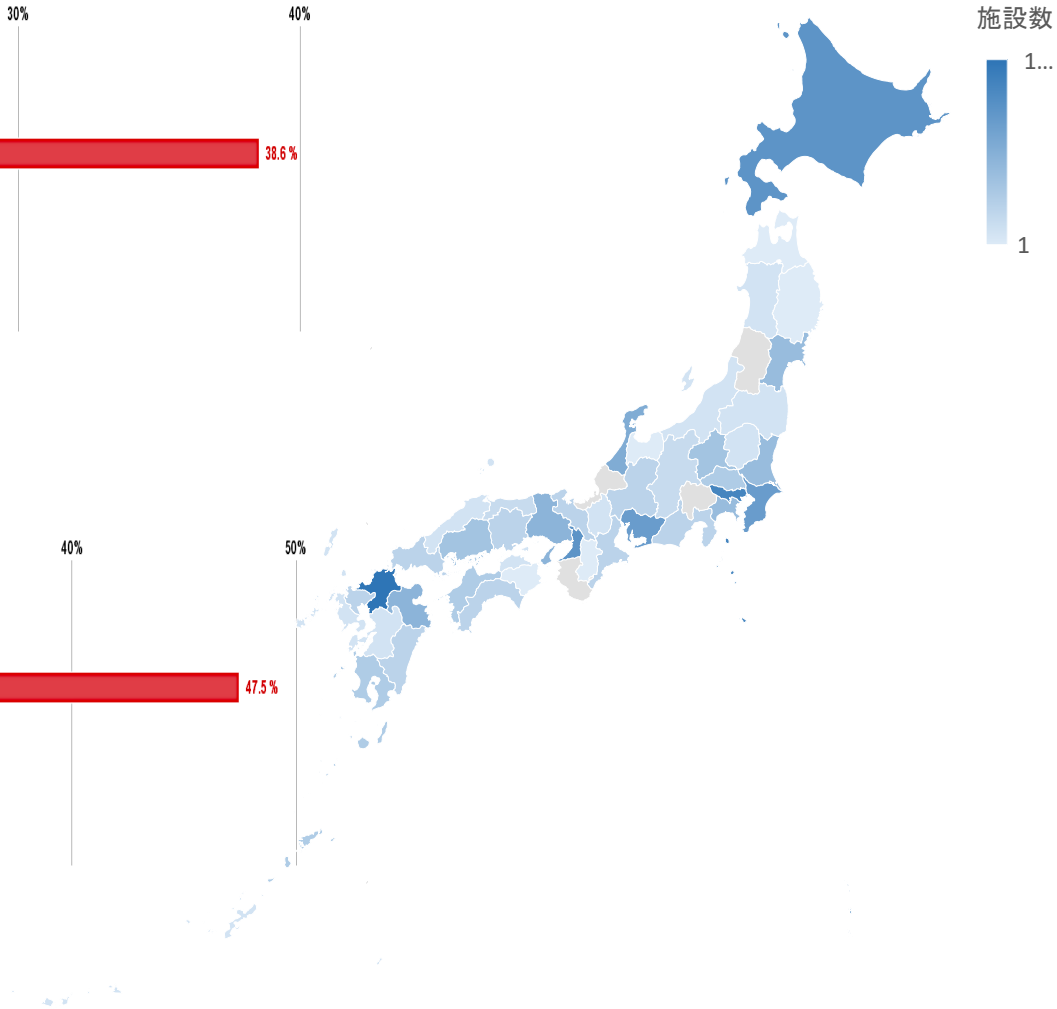
結果抜粋（施設調査）

1日あたり外来患者数



1日あたり入院患者数（総病床）



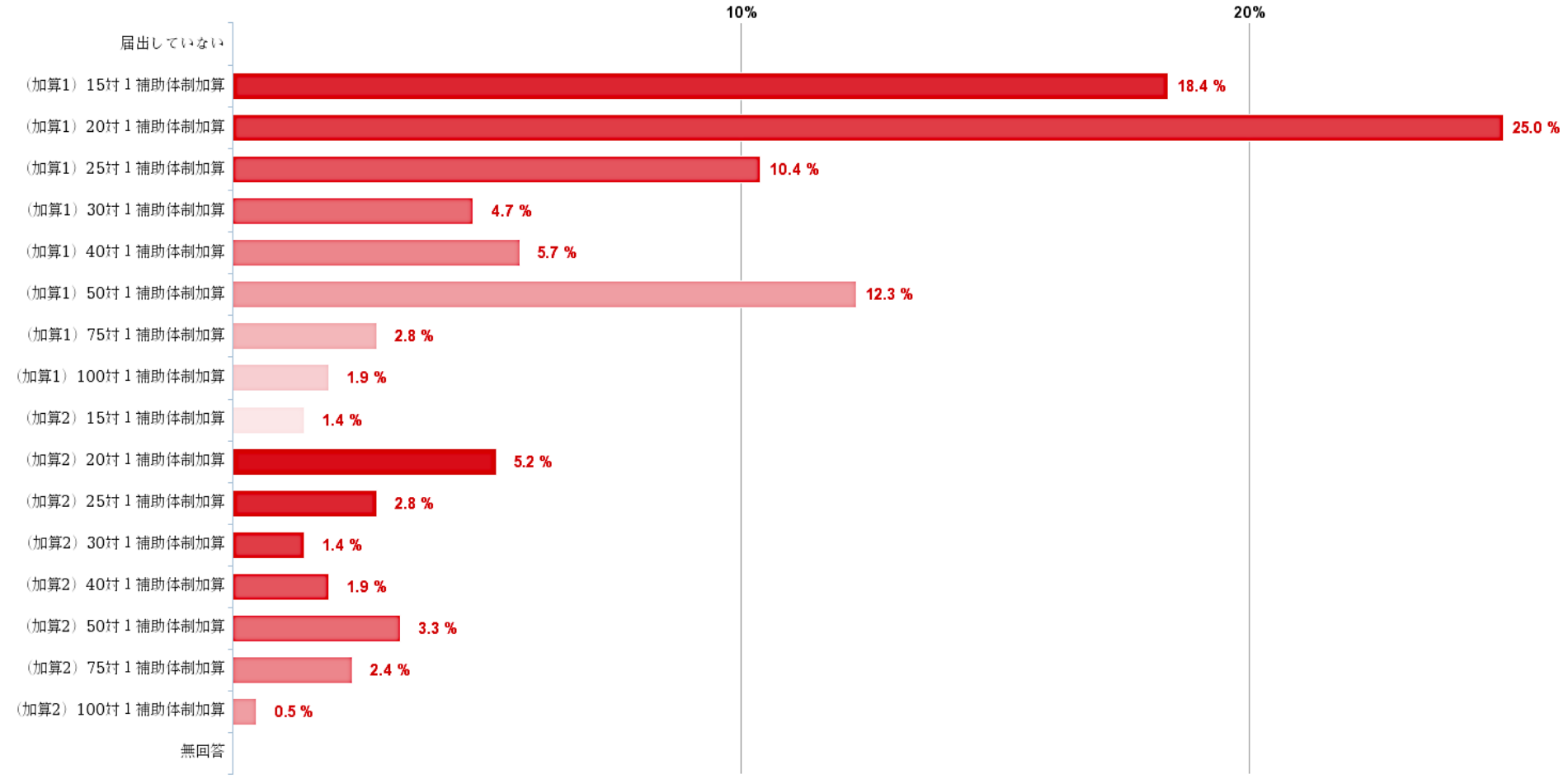


提供元: Bing
© GeoNames, Microsoft, Zenrin

©JAMOA

結果抜粋（施設調査）

2023年8月時点での施設基準



※届出施設のみ集計（n=191）

©JAMOA

結果抜粋（施設調査）

配置責任者の視点で見た医師事務配置のメリット

			度数	%
Q25	診療報酬算定に伴う効果について	どちらともいえない	31	14.8%
		メリットだと考えている	**176**	**84.2%**
		考えていない	2	1.0%
Q27	医師の事務作業負担軽減について	どちらともいえない	13	6.2%
		メリットだと考えている	**196**	**93.8%**
		考えていない	0	0%
Q29	医師の精神的負担軽減について	どちらともいえない	51	24.4%
		メリットだと考えている	**148**	**70.8%**
		考えていない	10	4.8%
Q31	業務負担軽減に伴う医師の残業時間削減	どちらともいえない	61	29.2%
		メリットだと考えている	**147**	**70.3%**
		考えていない	1	0.5%
Q33	医療職間のコミュニケーション向上	どちらともいえない	65	31.1%
		メリットだと考えている	**137**	**65.6%**
		考えていない	7	3.3%
Q35	外来または入院の患者数増加	どちらともいえない	134	64.1%
		メリットだと考えている	**50**	**23.9%**
		考えていない	25	12.0%
Q37	手術および検査などの件数増加	どちらともいえない	134	64.1%
		メリットだと考えている	**44**	**21.1%**
		考えていない	31	14.8%
Q39	患者サービス向上	どちらともいえない	59	28.2%
		メリットだと考えている	**143**	**68.4%**
		考えていない	7	3.3%
Q41	地域医療連携の推進	どちらともいえない	115	55.0%
		メリットだと考えている	**72**	**34.4%**
		考えていない	22	10.5%

©JAMOA

評価項目

医師の負担軽減効果

以下の条件を満たす場合、「医師の負担軽減効果あり」と定義

（施設調査）
＝医師の事務作業負担軽減効果「メリットあり　かつ　達成した」
　　および　医師の精神的負担軽減効果「メリットあり　かつ　達成した」

（個人調査）
＝医師の事務作業負担軽減「効果あり」　かつ　医師の精神的負担軽減「効果あり」

©JAMOA

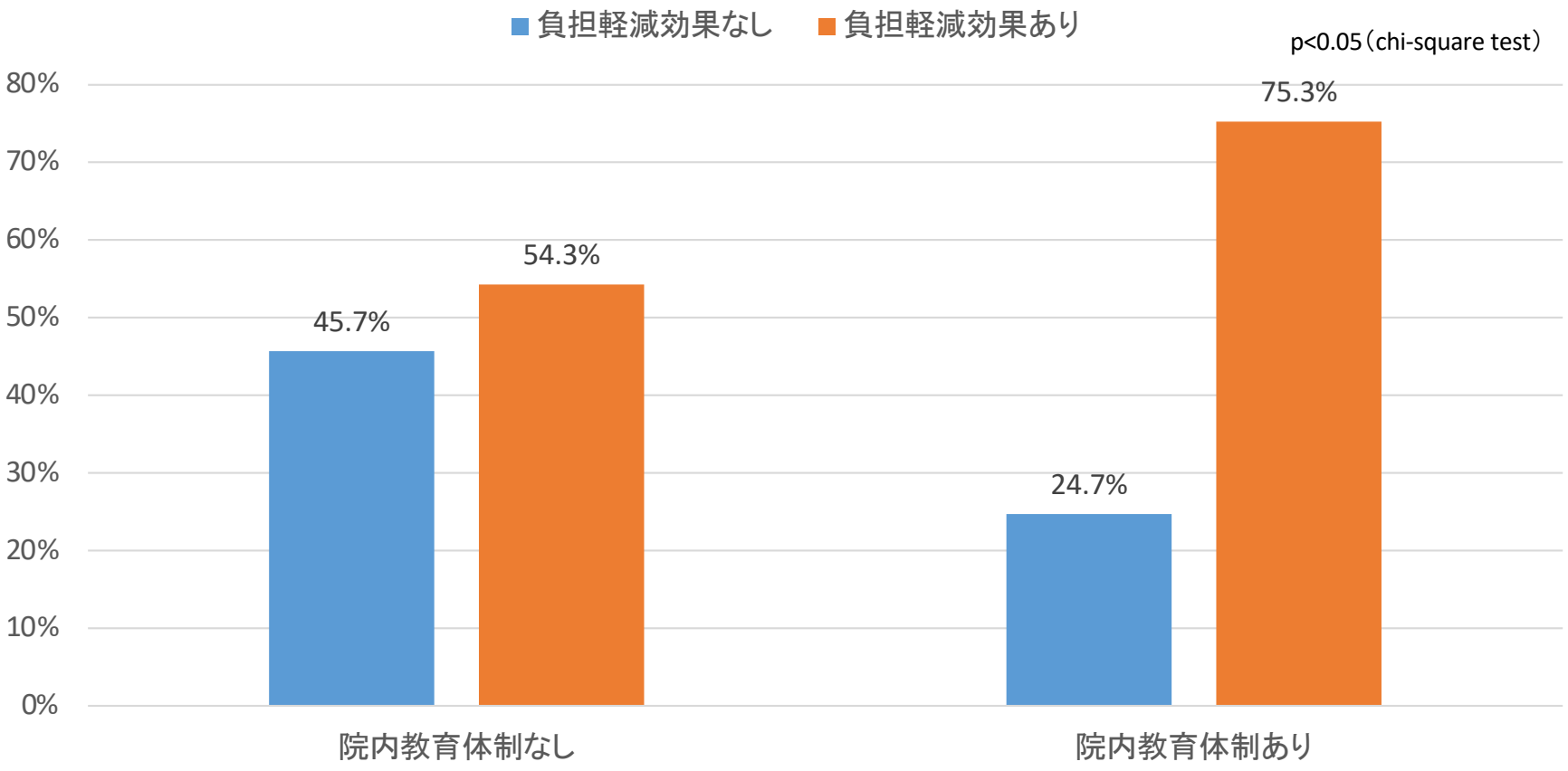
結果抜粋（施設調査）

実務者に関わる施設の環境と医師の負担軽減の関係

		医師の負担軽減			
		No		Yes	
		度数	%	度数	%
施設基準加算カテゴリ	加算1	48	28.4%	121	**71.6%**
	加算2	17	42.5%	23	57.5%
配置責任者の医師事務作業補助業務経験の有無	経験あり	18	30.5%	41	69.5%
	経験なし	47	31.3%	103	68.7%
リーダー的な医師事務作業補助者の有無	いない	23	35.9%	41	64.1%
	いる	42	29.0%	103	**71.0%**
業務に関連するマニュアルの有無	ある	56	30.8%	126	**69.2%**
	ない	9	33.3%	18	66.7%
院内教育体制の有無（32時間研修を除く）	ある	32	28.1%	82	**71.9%**
	ない	33	34.7%	62	65.3%
外部セミナーへの参加を促す体制の有無	ある	39	26.7%	107	**73.3%**
	ない	26	41.3%	37	58.7%
教育に関するラダー、キャリアパスの有無	ある	15	25.9%	43	**74.1%**
	ない	50	33.1%	101	66.9%
教育に関するラダー、キャリアパスの運用の有無	運用されていない	54	32.7%	111	67.3%
	運用されている	11	25.0%	33	**75.0%**
技能認定等により一定程度のスキル証明の有無	ある	9	20.0%	36	**80.0%**
	ない	56	34.1%	108	65.9%
施設基準に関する委員会への実務者の参加有無	参加していない	35	30.7%	79	69.3%
	参加している	30	31.6%	65	68.4%
臨床研修病院	No	22	29.3%	53	70.7%
	Yes	43	32.1%	91	67.9%
電子カルテ運用	No	5	50.0%	5	50.0%
	Yes	60	30.2%	139	69.8%
医療DXへの取り組み	No	27	31.0%	60	69.0%
	Yes	38	31.1%	84	68.9%

©JAMOA

院内教育体制の整備と医師の事務作業負担軽減効果



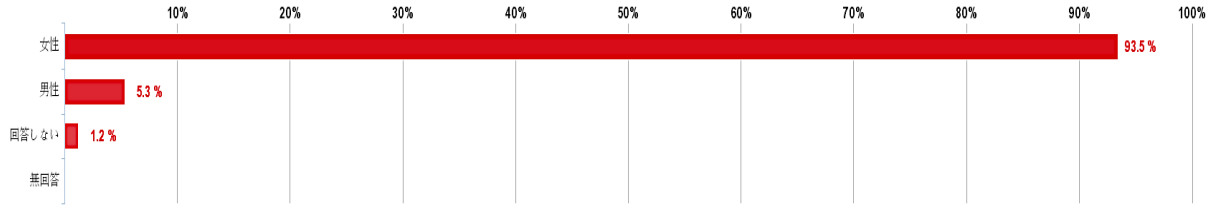
※負担軽減効果：医師の事務作業負担軽減
※回答施設数：350施設

院内教育体制を有する施設とそれ以外の施設を比較し、
院内教育体制を有する施設において医師の事務作業負担軽減効果が有意に高い。

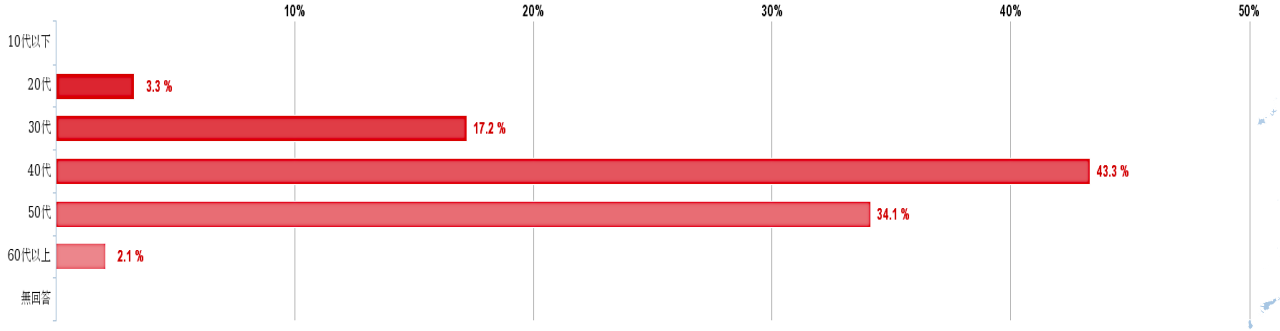
©JAMOA

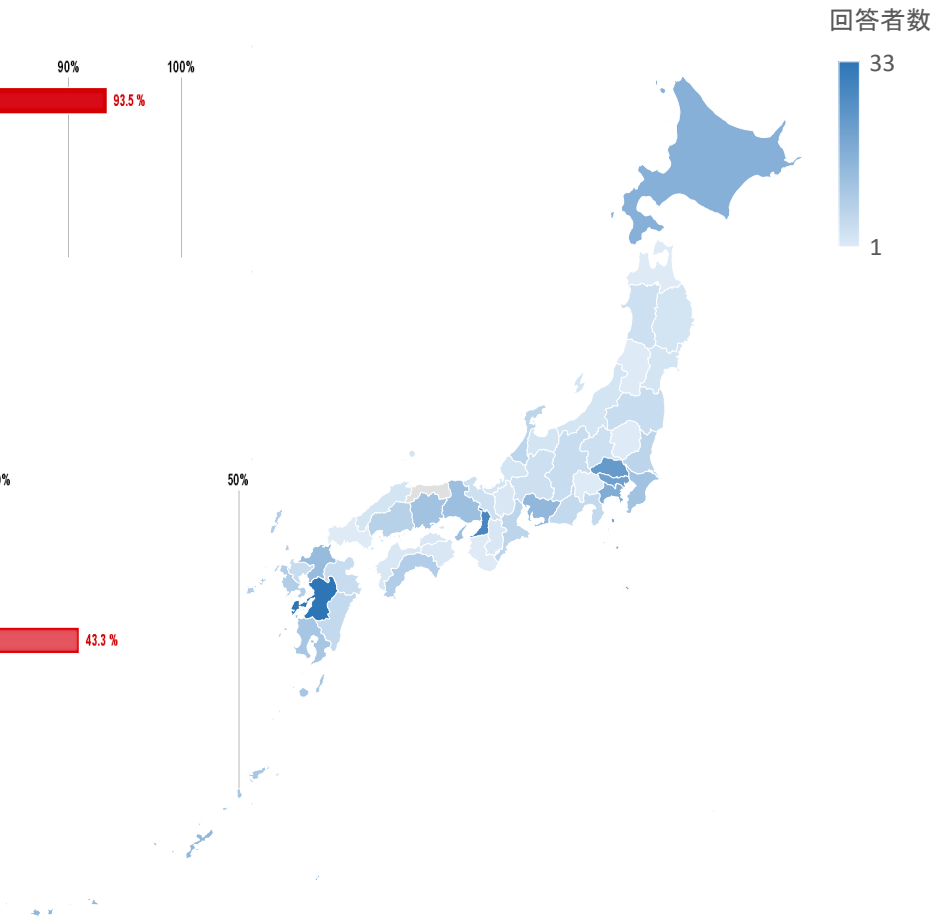
結果抜粋（個人調査）

性別



年代



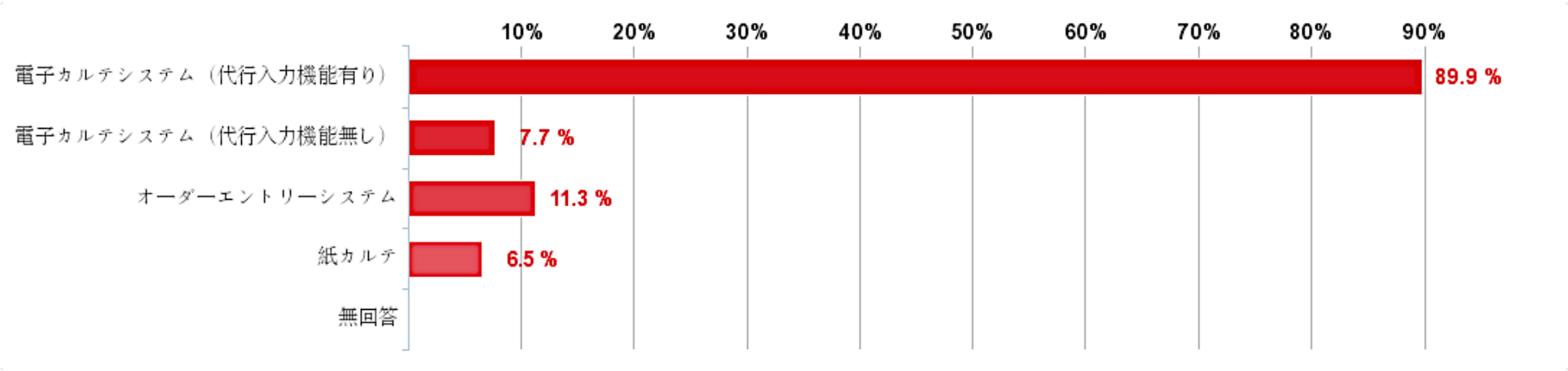


提供元: Bing
© GeoNames, Microsoft, Zenrin

©JAMOA

結果抜粋（個人調査）

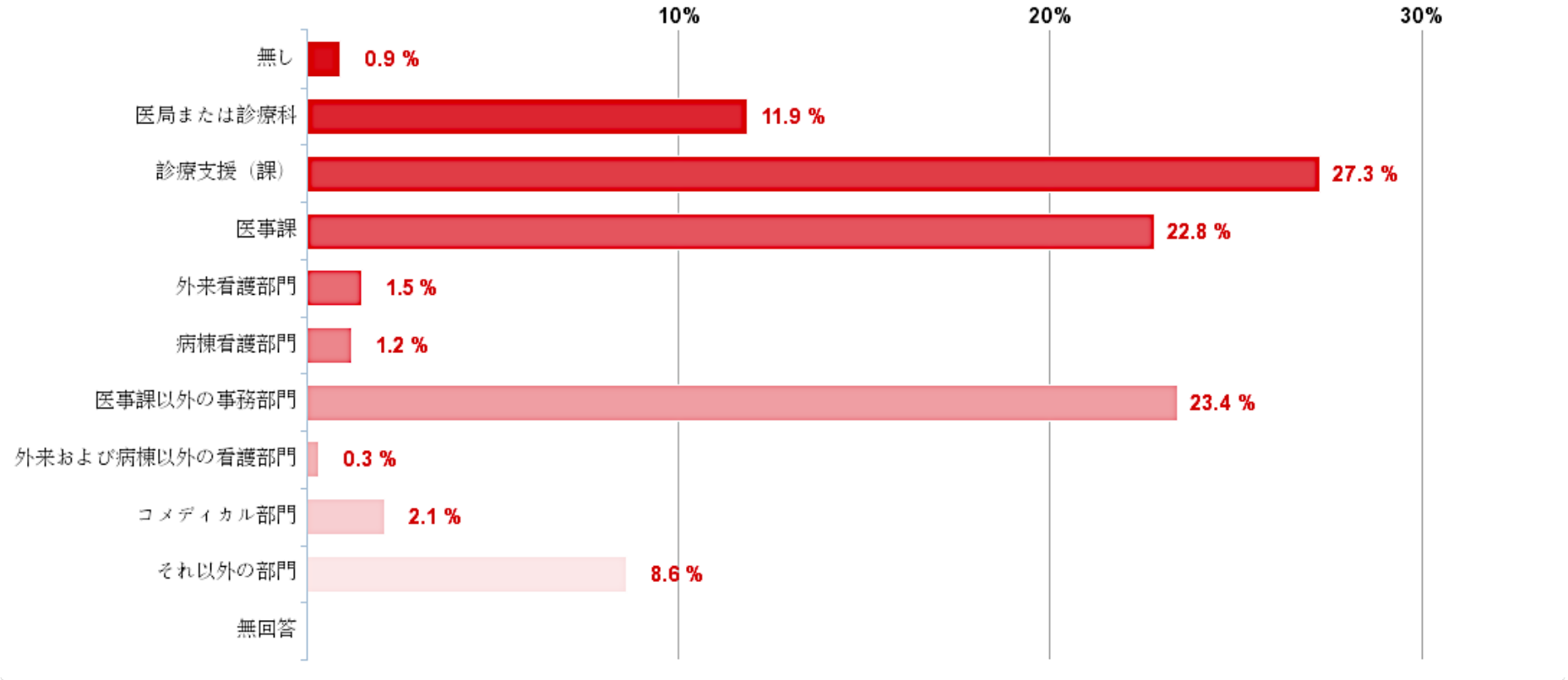
使用しているカルテ・システムについて



©JAMOA

結果抜粋（個人調査）

所属部署



©JAMOA

結果抜粋（個人調査）

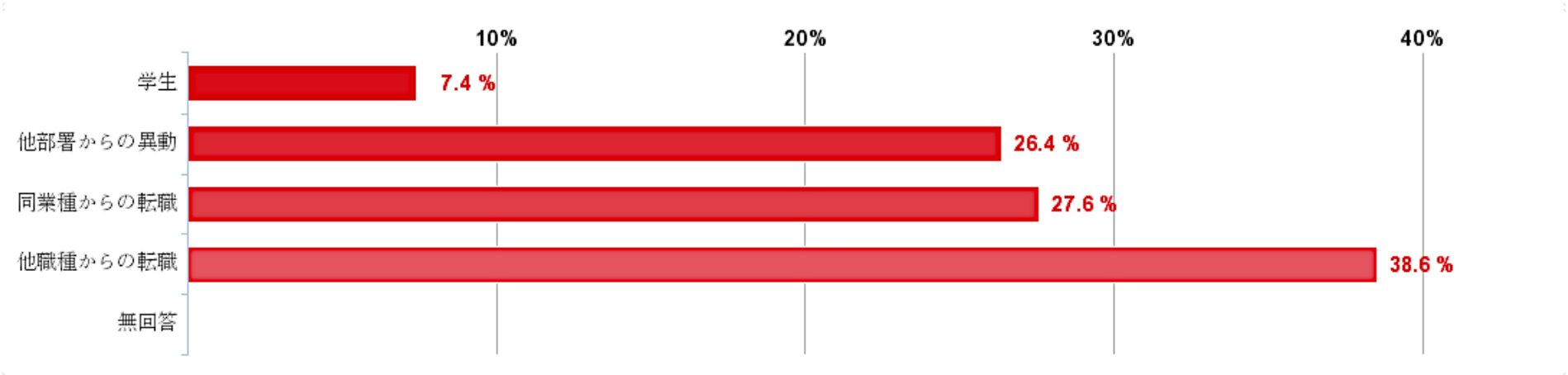
実務者としての経験年数

	平均値	中央値	最小値	最大値
医師事務作業補助者としてのこれまでの経験年数をお答えください。	9	10	0	22
現在勤務している医療機関での経験年数をお答えください。	12	10	0	38

©JAMOA

結果抜粋（個人調査）

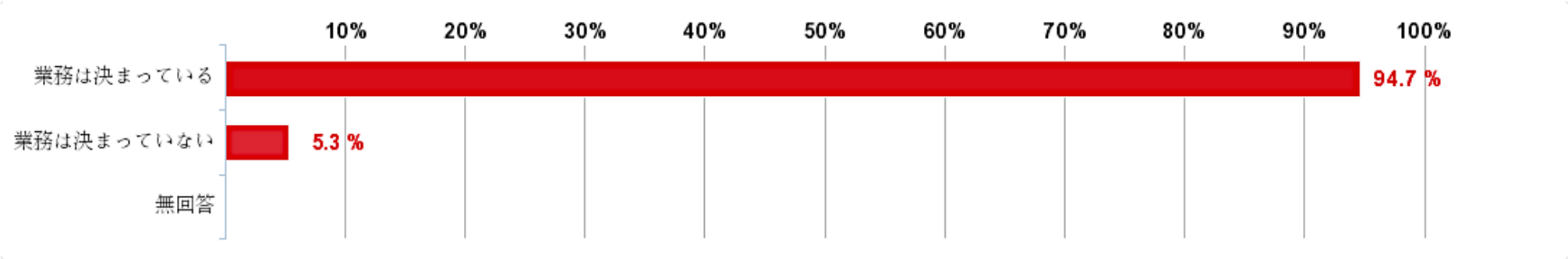
実務者の前職



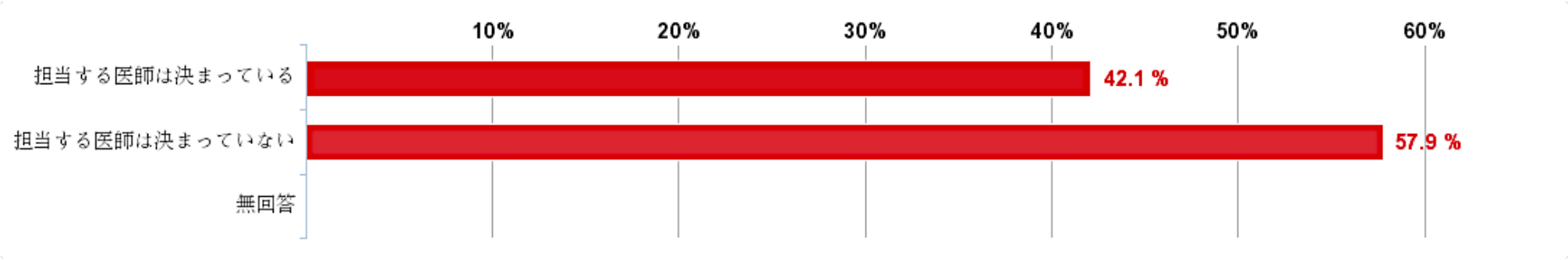
©JAMOA

結果抜粋（個人調査）

担当診療科

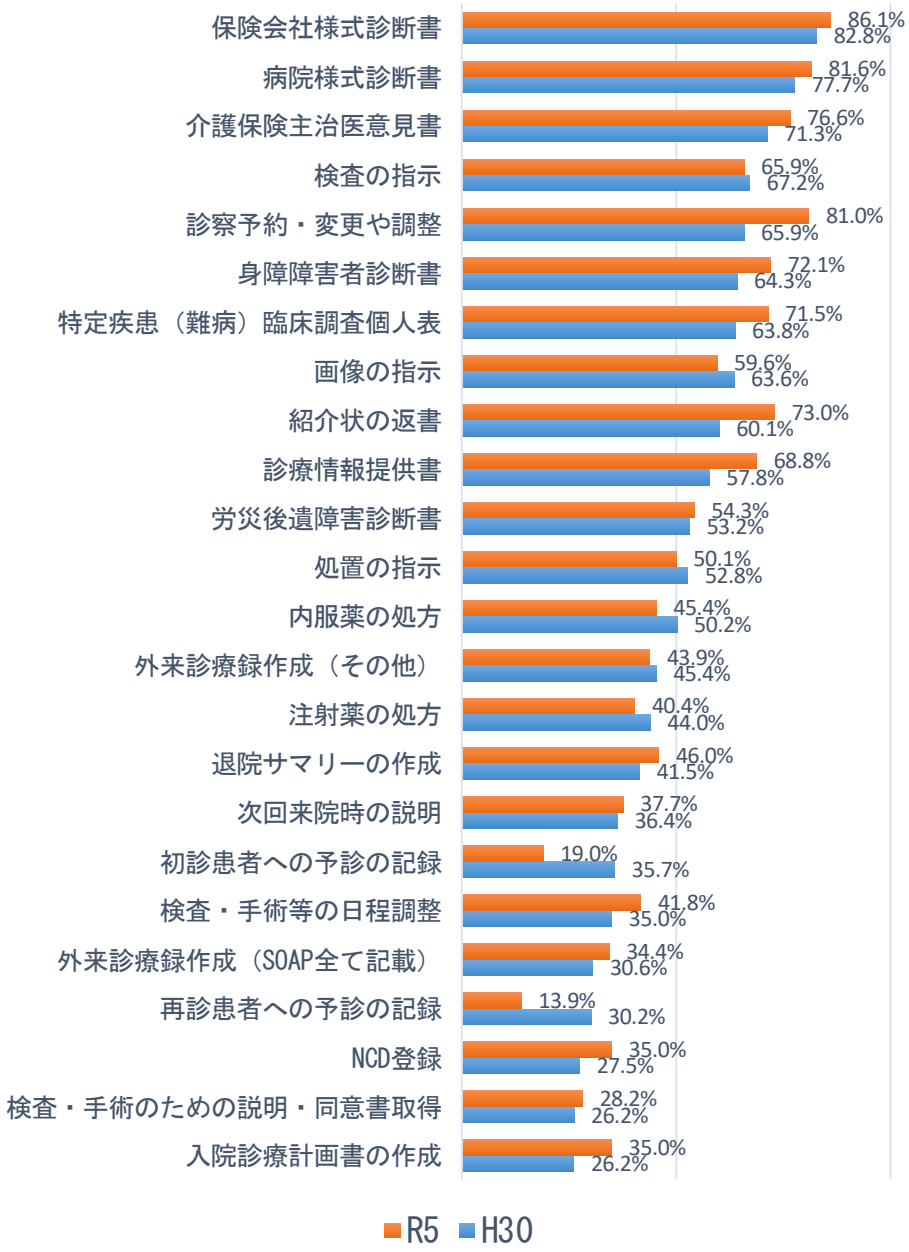


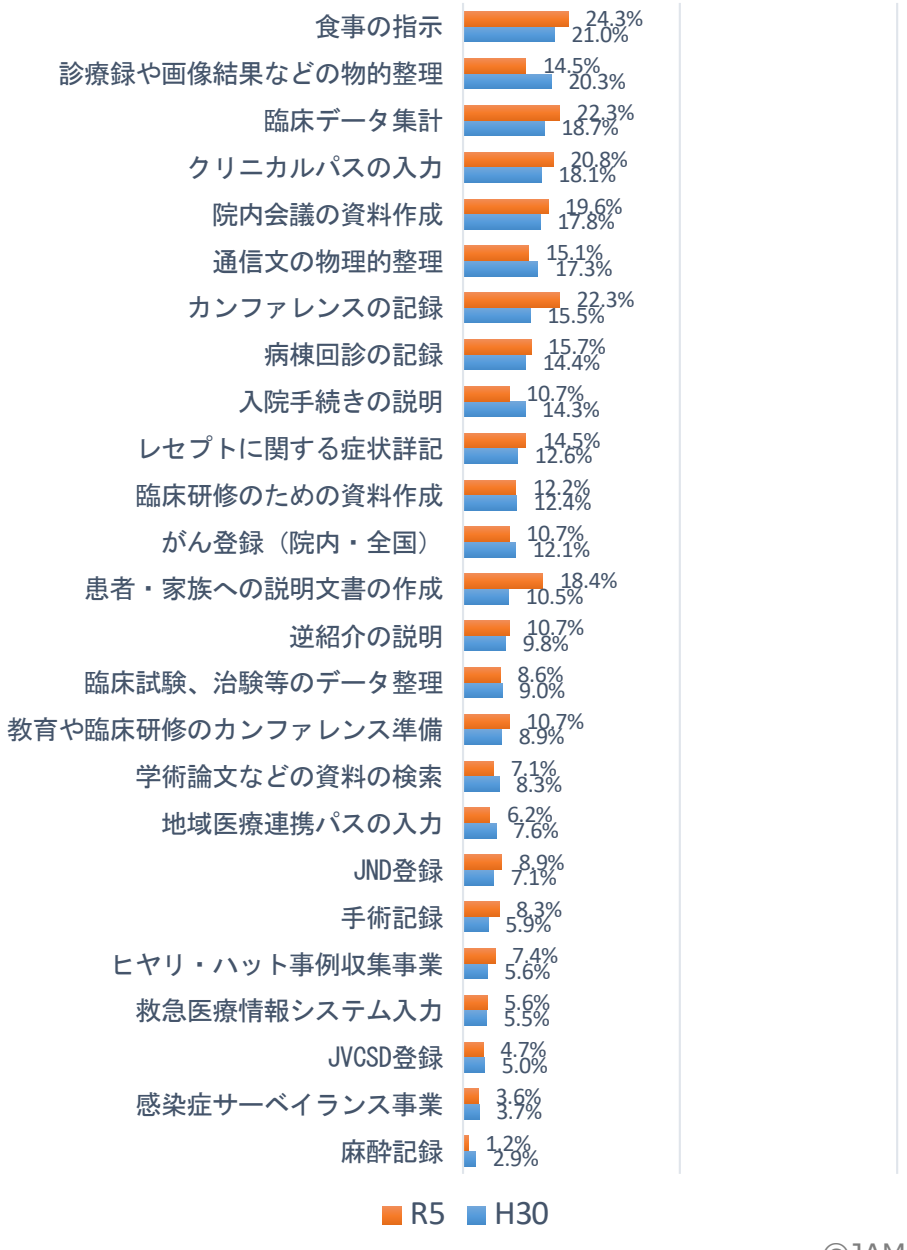
担当医師



©JAMOA

実務者の業務内容比較（H30-R5）





©JAMOA

結果抜粋（個人調査）

1回あたり作業時間集計（文書作成補助）

	平均	中央	25%	75%
病院様式の診断書	12	10	5	15
保険会社様式の診断書	21	15	10	30
労災後遺障害診断書	29	30	15	30
身障障害者診断書	33	30	20	40
介護保険における主治医意見書	34	30	15	40
臨床調査個人票	30	30	15	30
診療情報提供書（紹介状）	22	15	10	30
紹介状の返書	15	10	5	15
入院診療計画書	7	5	5	10
患者・家族への説明文書	11	5	5	15

25%：25パーセンタイル、75%：75パーセンタイル

©JAMOA

結果抜粋（個人調査）

1回あたり作業時間集計（代行入力）

	平均	中央	25%	75%
外来診療録の作成（SOAP全てを記載する場合）	18	10	5	15
外来診療録の作成（上記以外の場合）	10	5	5	10
内服薬の処方	9	5	3	5
注射薬の処方	6	3	2	5
検査の指示	6	4	2	5
画像の指示	6	3	2	5
処置の指示	5	3	2	5
診療予約・変更や調整	7	5	3	5
退院サマリー	23	15	10	30
クリニカルパスの入力	10	5	3	10
地域連携パスの入力合）	12	10	5	20
食事の指示（食事せん・給食オーダ）	5	5	3	5
病棟回診の記録	35	10	5	60
手術記録	16	10	5	20
麻酔記録	16	10	1	15

25%：25パーセンタイル、75%：75パーセンタイル

©JAMOA

結果抜粋（個人調査）

1回あたり作業時間集計（医療の質）

	平均	中央	25%	75%
院内がん登録・全国がん登録	59	30	15	60
NCD登録	53	30	15	60
JCVSD登録	87	60	30	60
JND登録	39	30	10	60
臨床データの集計	67	60	20	60
臨床研修のための資料作成等の準備作業	67	60	30	60
学術論文などの資料の検索、取り寄せ	45	30	10	60
カンファレンスの記録	37	30	15	60
院内会議のための資料作成等の準備作業	51	30	30	60
院外会議のための資料作成等の準備作業	86	60	30	120
臨床試験等のデータ整理	56	30	20	60
医師の教育や臨床研修のカンファレンスの準備	35	15	10	30

25%：25パーセンタイル、75%：75パーセンタイル

©JAMOA

結果抜粋（個人調査）

1回あたり作業時間集計（患者対応、行政、その他）

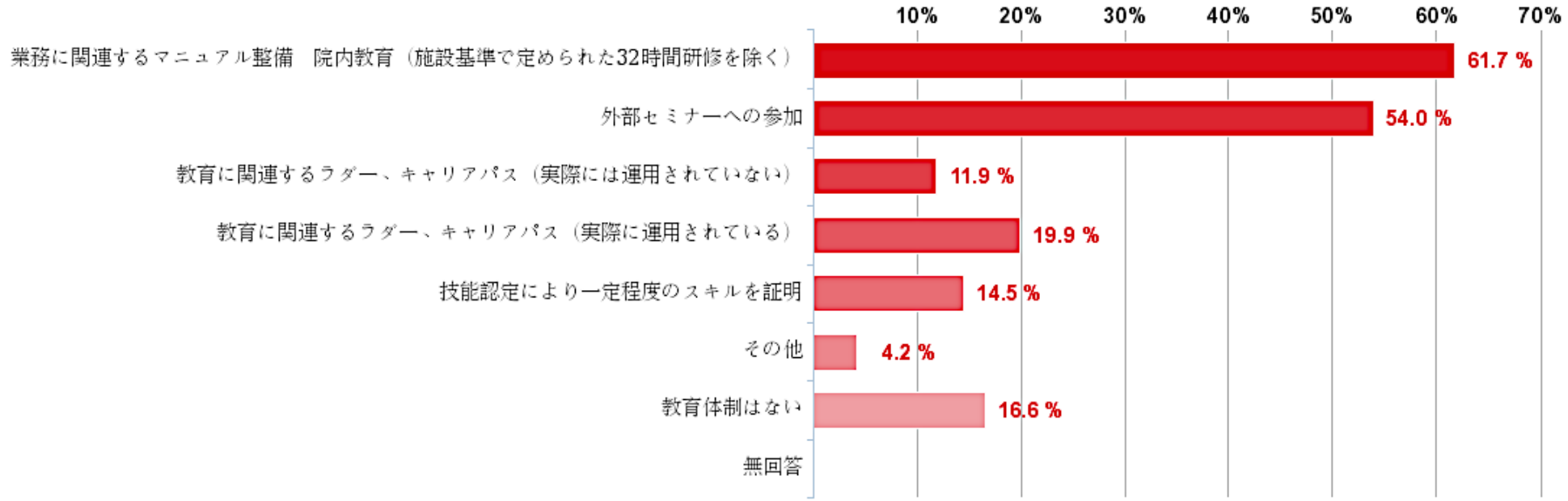
	平均	中央	25%	75%
検査・手術のための説明・同意書の取得	8	5	5	10
次回来院時の説明	5	5	3	5
入院手続きの説明	12	10	5	15
検査・手術等の日程調整	12	10	5	10
逆紹介の説明	9	5	5	10
初診患者への予診	10	5	5	10
再診患者への予診	7	5	5	10
救急医療情報システムへの入力	15	5	5	20
感染症サーベイランス事業に係る入力	29	15	5	30
ヒヤリ・ハット事例取集事業に係る入力	24	15	10	30
レセプトに関する症状詳記	29	15	5	30
通信文（書簡・電子メール等）の物的整理	13	10	5	15
診療録、画像検査結果等の物的整理	21	10	5	30

25%：25パーセンタイル、75%：75パーセンタイル

©JAMOA

結果抜粋（個人調査）

院内の教育体制

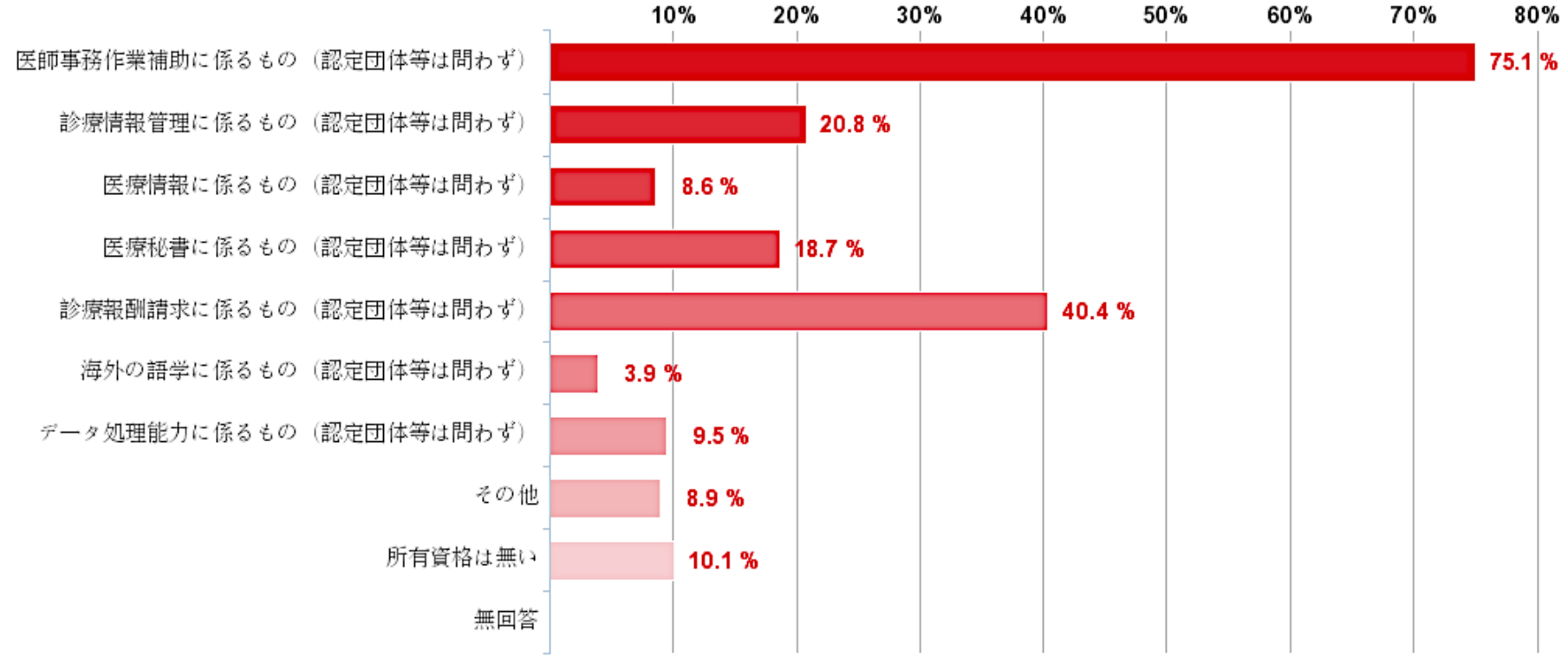


複数回答項目

©JAMOA

結果抜粋（個人調査）

所有資格

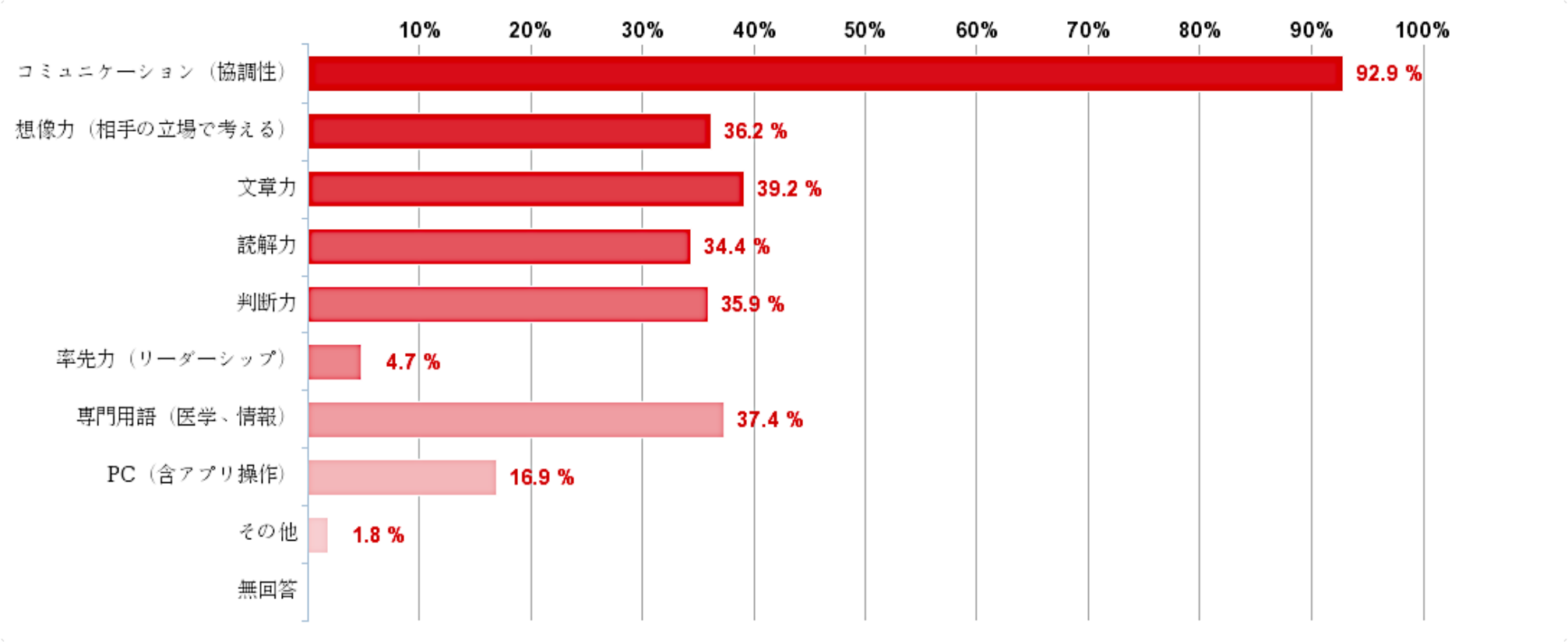


複数回答項目

©JAMOA

結果抜粋（個人調査）

医師事務業務を行う上で特に重要と思うスキル



複数回答項目

©JAMOA

結果抜粋（個人調査）

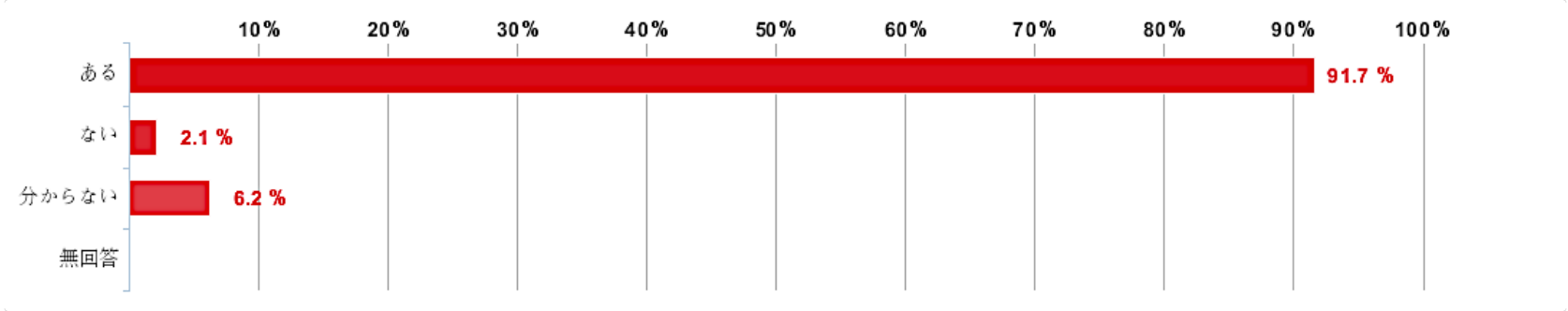
医師の負担軽減効果（実務者側）

		度数	%
医師の事務作業負担軽減効果	効果ある	339	93.9%
	効果ない	2	0.6%
	分からない	20	5.5%
医師の精神的負担軽減効果	効果ある	259	71.7%
	効果ない	2	0.6%
	分からない	100	27.7%
医師の残業時間削減効果	効果ある	231	64.0%
	効果ない	13	3.6%
	分からない	117	32.4%
医療職間のコミュニケーション向上効果	効果ある	262	72.6%
	効果ない	11	3.0%
	分からない	88	24.4%
チーム医療推進効果	効果ある	252	69.8%
	効果ない	19	5.3%
	分からない	90	24.9%
外来または入院の患者数増加	効果ある	97	26.9%
	効果ない	47	13.0%
	分からない	217	60.1%
手術検査などの件数増加	効果ある	78	21.6%
	効果ない	64	17.7%
	分からない	219	60.7%
患者サービスの質向上効果	効果ある	260	72.0%
	効果ない	8	2.2%
	分からない	93	25.8%

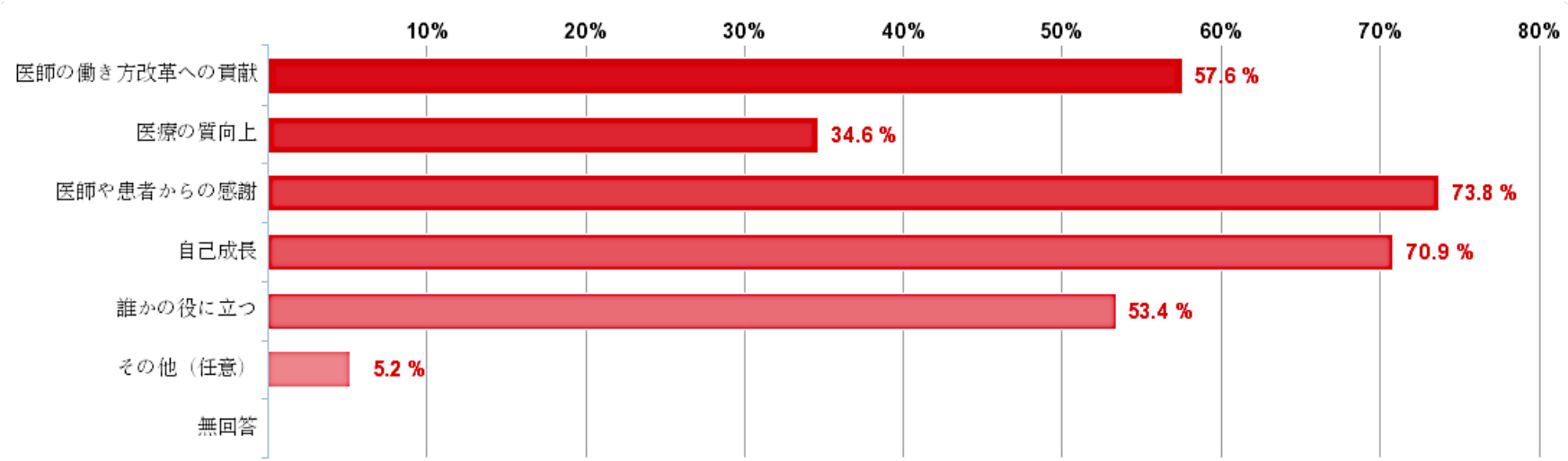
©JAMOA

結果抜粋（個人調査）

医師事務作業補助業務をしていて良かったと思うことはありますか？



「ある」を選択した方

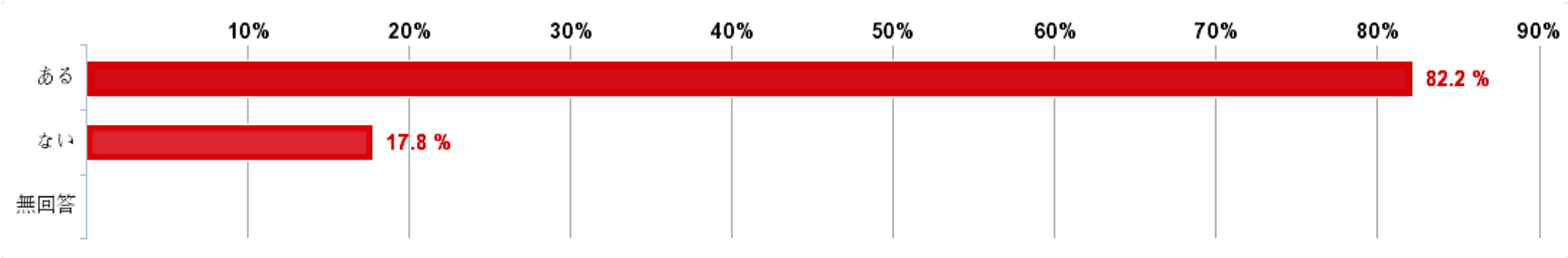


複数回答項目

©JAMOA

結果抜粋（個人調査）

人間関係を円滑にするために工夫していることはありますか？



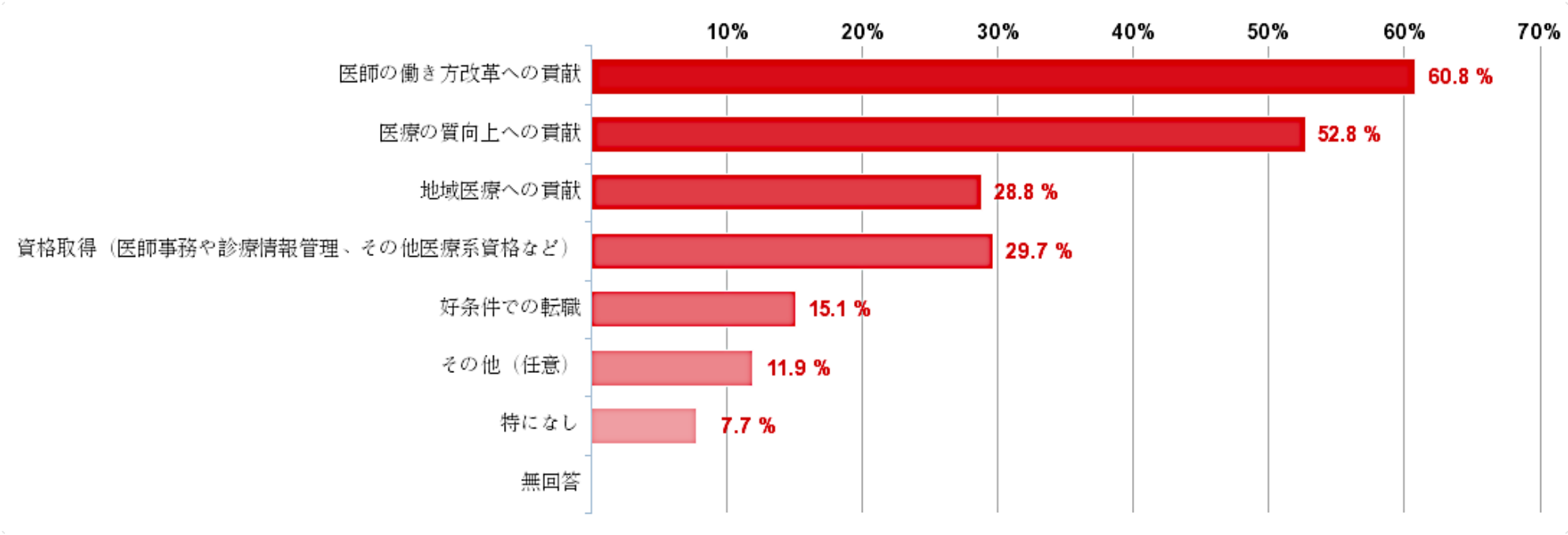
「ある」を選択した方

・積極的なコミュニケーション
・感謝の気持ち
・相手を尊重する、相手の立場になって考える
・食事会（コロナ前）
・「ありがとう」を伝える、挨拶をする　　他

©JAMOA

結果抜粋（個人調査）

将来の目標

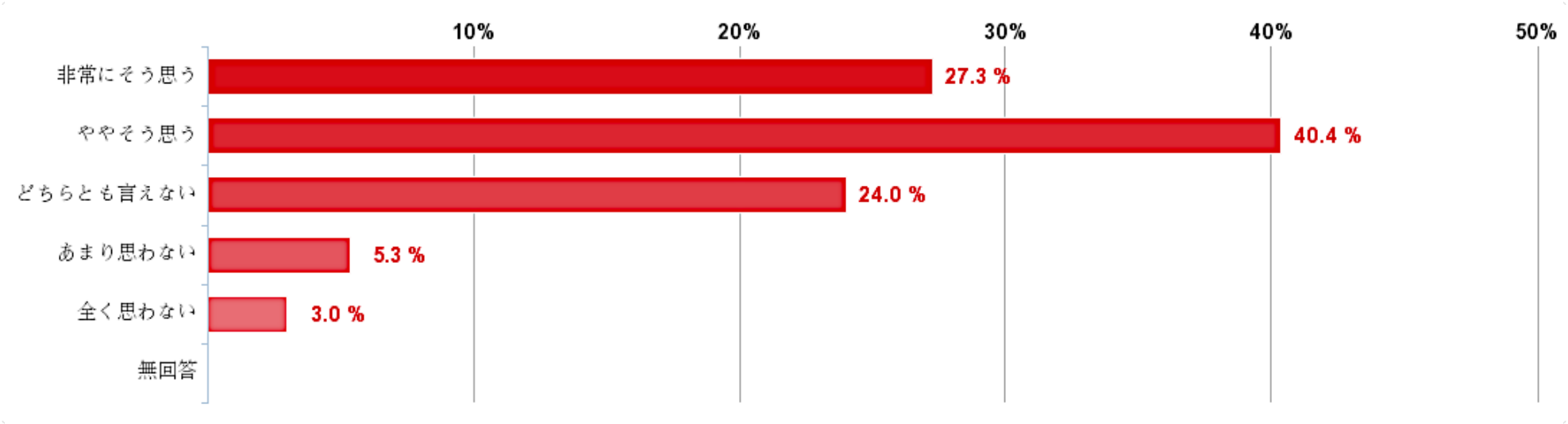


複数回答項目

©JAMOA

結果抜粋（個人調査）

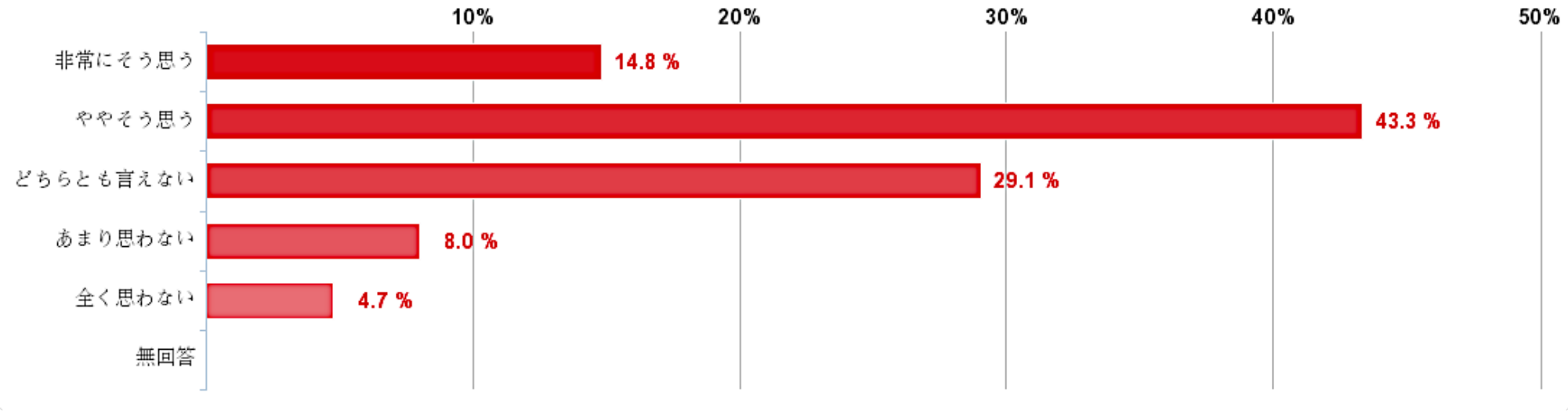
今の職場でこれからも働き続けたいと思いますか？



©JAMOA

結果抜粋（個人調査）

患者として現在勤務している医療機関を受診したいと思いますか？

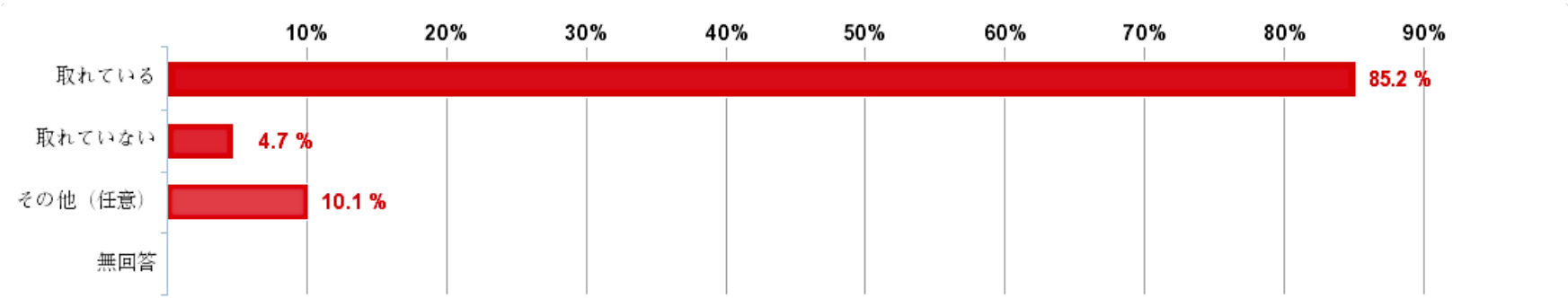


©JAMOA

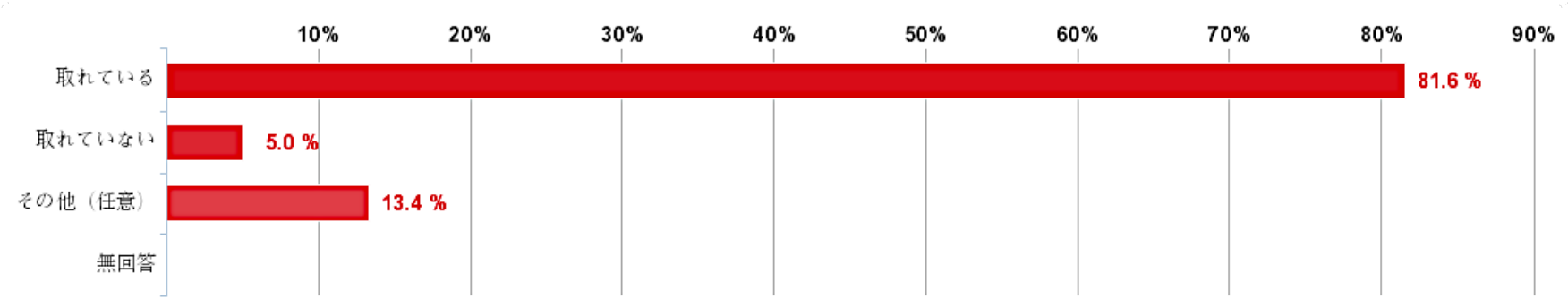
結果抜粋（個人調査）

コミュニケーションがとれていますか？

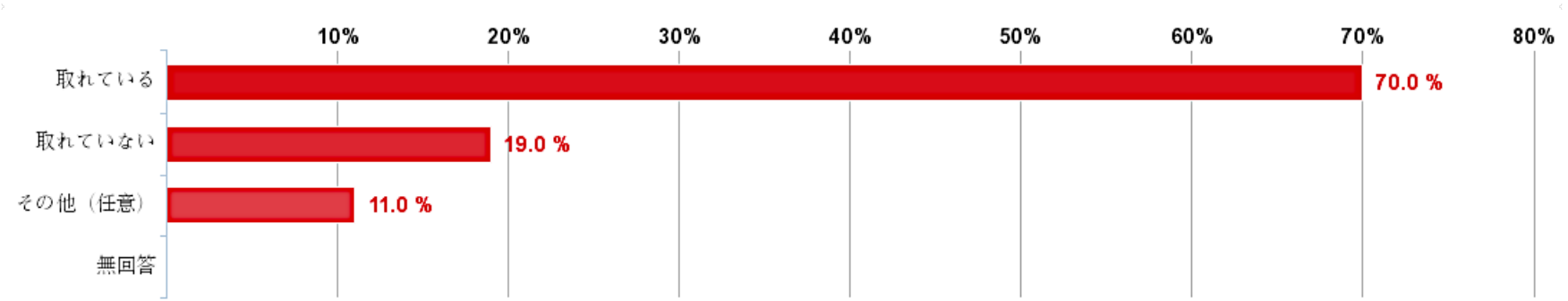
実務者間



医師



配置責任者



©JAMOA

謝辞

Japanese Association of Medical Office Assistants

アンケート調査にご協力いただきました
全ての医療機関・会員の皆様に
深く感謝申し上げます

Thank you for your attention.

©JAMOA